

コベルコ建機

適用範囲		モデル名		SK27SR- 5	
		仕様		後方小旋回	
		適用号機		PV13-33453~	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		2340±50	
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	1170±50	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	(60～90)	
		(冷却水温)	(℃)	(50～60)	
		(作動油温)	(℃)		
	弁すき間	吸気弁 隙間	mm	0.15～0.25	
		排気弁 隙間	mm	0.15～0.25	
		(測定条件)	(℃)	(冷態時)	
	圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差		MPa	3.16	
			kgf/cm ²	32	
		(冷却水温)	(℃)	(60～90)	
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力		(rpm)	(—)	
			MPa	19.6	
			kgf/cm ²	200	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10～14	
		[測定位置・条件]		オルタネータプーリ〜クランクプーリ間	
		(中間を指で押す力)	N・m	〔 98 〕	
走行装置	走行性能	最高速度	kgf	〔 10 〕	
		ゴム	秒	18.8	
		鉄	秒	19.3	
	履帯 (クローラベルト)	[測定方法・条件]		クローラ5回転／高速モード	
		[図-01]			
		ゴムベルト	張り (たわみ量)	mm	80～90
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]		[図-02]
走行装置	鉄シュー	張り (たわみ量)	mm	115～130	
		[測定方法・条件 (図面番号表示)]		[図-02]	
		リンクピッチの伸び	mm	101.6	
		[測定方法・条件]		〔1リンクピン間距離〕	
	履板取付けボルト締付けトルク		N・m	—	
		[測定方法・条件]	kg・m		

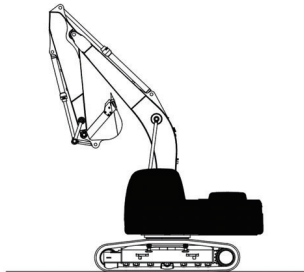
コベルコ建機

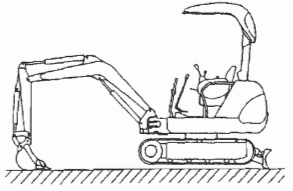
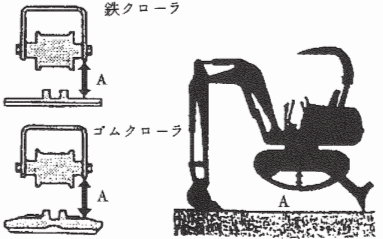
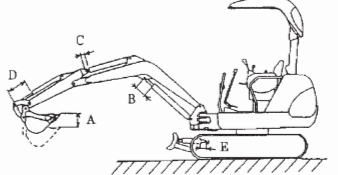
適用範囲		モデル名		SK27SR- 5	
		仕様		後方小旋回	
		適用号機		PV13-33453~	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置	mm	150	
		(測定時間)	(分)	(10)	
		(作動油温)	(℃)	(50～60)	
	シリンダ自然伸縮	作業装置姿勢		〔図-03〕	
		(図面番号表示)			
		アームシリンダ	mm	5	
作業装置	バケットシリンダ	作業装置姿勢	mm	〔図-03〕	
		(図面番号表示)		3	
		作業装置姿勢	mm	〔図-03〕	
	ブレードシリンダ	作業装置姿勢	mm	〔図-03〕	
		(図面番号表示)		3	
		作業装置姿勢	mm	〔図-03〕	
作業装置	作業機速度	ブーム上げ	(分)	(50～60)	
		(測定時間)	(℃)		
		(作動油温)			
	作業装置姿勢	作業装置姿勢	sec	2.2±0.4	
		(図面番号表示)		〔図-04〕	
		アームシリンダ伸ばし	sec	2.4±0.4	
油圧装置	縮め	作業装置姿勢	sec	1.5±0.4	
		(図面番号表示)		〔図-05〕	
		バケットシリンダ伸ばし	sec	2.4±0.4	
	縮め	作業装置姿勢	sec	1.4±0.4	
		(図面番号表示)		〔図-06〕	
		性能測定条件		〔 無負荷 〕	
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	23.0	
		性能測定条件	kgf/cm ²	235	
		(設定モード等)		〔 エンジン：ハイアイドル 作動油温：50℃ 〕	
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	N・m	—	
		kgf・m			
	インナレース取付けボルトの締付けトルク		N・m	115.0	
			kgf・m	11.7	
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	N・m	115.0	
		kgf・m		11.7	
備考		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	N・m	—	
		kgf・m			

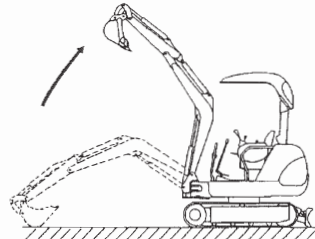
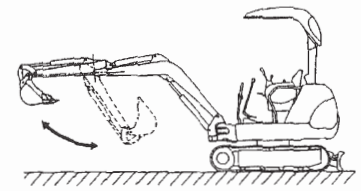
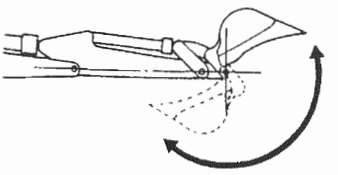
★印：新車基準値を表す。

コベルコ建機

適用範囲		モデル名	SK27SR- 5	
		仕様	後方小旋回	
		適用号機	PV13-33453～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	旋回 作業装置姿勢 (図面番号表示)	sec	13.4～14.8 [図-07]

項目	測定方法
旋回速度	・エンジン：ハイアイドル ・作動油温：50℃±5℃ ・作業モード；S又はMモード ・クッションストロークを除く作動時間 ・バケット空荷で平坦地 ・ブームシリンダ/アームシリンダ/バケットシリンダ最伸 方 法 旋回レバーをフルストロークを操作し旋回する。 一回転助走後の二回転に要する時間を測定し、 一回転当りの所要時間を算出する。  図-07

走行速度 (5 回転) ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 ・クローラシュを回転させ、2 回転目より数え、5 回転するまでに要する時間を測定する。(等速回転後の測定)	 図-01
クローラの張り ・ホウアタッチメントとドーザを使用し、車体を持ち上げる。 クローラフレーム中央部におけるフレーム下面とクローラシュ上面とのすきまを測定する。 注) ゴムクローラの場合は、“M” マークの印された継目部を上部中央にして測定すること。	 図-02
シリンダ自然降下量 ブーム、アーム、バケット、ドーザ、バスケット先端 ・エンジン 停止 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 ドーザ、アームシリンダは最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、ブームフットピンとバケットピンの高さを同一にする。 ・測定姿勢を 10 分間保ち、その間に变化したロッドの長さ、及びバケット先端での変化量を測定する。	 図-03

ブームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とする。ドーザを設地させる。 ・バケットの設置位置 (最高上げ位置) から、最高上げ位置 (地上設置位置) までの所要時間を測定する。(クッション作動時間は含まない)	 図-04
アームシリンダ速度 ・エンジン 定格回転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小、バケットシリンダは最伸長とし、アームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・アームシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-05
バケットシリンダ速度 ・エンジン 定格運転 ・作動油温 50℃ ～ 60℃ ・測定姿勢 アームシリンダを最縮小にしてアームを水平にする。ドーザを設地させる。 ・バケットシリンダの最伸長時 (最縮小時) から最縮小時 (最伸長時) までの時間を測定する。	 図-06